

CASBEE-建築(新築)2016年版

舞鶴小中学校 増築校舎

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.0	
Q1 室内環境					0.40		-	3.4	
1 音環境				2.9	0.15	-	-	2.9	
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音		-		2.8	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		-		3.0	0.30	3.0	-		
2 界壁遮音性能		-		3.0	0.30	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		2.0	0.20	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		3.0	0.20	3.0	-		
1.3 吸音		-		3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温		-		3.0	0.60	3.0	-		
2 外皮性能		記入例:エアフローウインドウの採用		3.0	0.40	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		-		3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御		-		3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式		-		3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.4	0.25	-	-	3.4	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		
1 昼光率		-		3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口		-		-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		-		3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		カーテン設置とあわせて、窓をセットバックさせ庇の効果をもたせ 教室設計照度:500Lx		4.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		-		3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				4.2	0.25	-	-	4.2	
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		全てにおいてF☆☆☆☆を使用		5.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量		-		3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能		-		3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		-		3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		CO2制御機能付全熱交換ユニットを採用		5.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		-		3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.5	
1 機能性				3.3	0.40	-	-	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-		3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		-		3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		-		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		-		3.0	0.50	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		-		2.0	-	-	-		
3 内装計画		-		3.0	0.50	3.0	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		床面はメンテナンスフリー。外装は塗装仕上げ各所に水切りを設置		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		トイレ毎にSKを設置、点検口600角も適切に配置		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.0	0.30	-	-	4.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		警固断層に着目した建築物の耐震対策(×1.25)に加え、福岡市小 中学校施設整備指針(×1.25)に基づいて保有水平体力を設定してい		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		通気VP-A、給水VLP-B、汚水・雑排水VP-B、冷媒管CU-C		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.4	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水器具採用、給水系統の細分化、再生水利用、非常用水栓の設		5.0	0.20	-	-		
3 電気設備		-		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		-		3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	-	3.4	
3.1 空間のゆとり				3.6	0.30	-	-		
1 階高のゆとり		-		4.0	0.60	3.0	-		
2 空間の形状・自由さ		-		3.0	0.40	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり		-		4.0	0.30	3.0	-		
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-		

	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.0
1	生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.5
1	建物外皮の熱負荷抑制			BEI値=0.25	5.0	0.20	-	5.0
2	自然エネルギー利用			教室には自然換気が可能な窓を設置。	4.0	0.10	-	4.0
3	設備システムの高効率化			BELS適合	5.0	0.50	-	5.0
4	効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1	材料使用量の削減	—	3.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭、基礎梁等の高炉セメントを使用	5.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	—	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20	-	-	2.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	—	2.6	0.70	-	-	
		1	消火剤	2.0	0.33	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33	-	-	
		3	冷媒	空調機冷媒 R-32(HFC-32)	3.0	0.33	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮			4.3	0.33	-	-	4.3
2	地域環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
	2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		3	交通負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	—	3.0	0.40	-	-	
		1	騒音	3.0	0.50	-	-	
		2	振動	-	-	-	-	
		3	悪臭	3.0	0.50	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制	—	2.6	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	風害対策に対する要請がない。	3.0	0.60	-	
		2	砂塵の抑制	—	1.0	0.20	-	
		3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.20	-	
	3.3	光害の抑制	—	2.3	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	2.0	0.70	-	
		2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	